



長野県福祉大学校便り

令和4年3月
第17号

保育学科2年生47名、介護福祉学科12名はコロナに負けず夢の実現に向かって羽ばたきます!

コロナ禍で卒業音楽会の中止など学校行事の縮小を余儀なくされました。その分、人と人とのつながりの温かさを感じた一年でした。ご支援頂いた皆様に心から御礼申し上げます。

令和3年度 卒業生進路状況

		保育学科	介護福祉学科
公立保育所	正規	14名	1名
	非正規	10名	
私立保育所	正規	1名	
幼稚園 認定こども園	正規	8名	1名
公立社会福祉施設	正規	1名	5名
私立社会福祉施設	正規		5名
進学(本校介護福祉学科)		12名	
その他		1名	
卒業生数		47名	12名



ミュージカル 脚本係
荒城 円香

私たち27期生は、下諏訪文化センターで行うはずだったミュージカル「きらきらハートのたからもの」が中止となってしまいました。

私たちの学年は、2年間を通してコロナの影響を受け続けてきた訳ですが、昨年の先輩方の素晴らしいミュージカルを見て、「何としてでも集大成であるミュージカルだけは成功させたい!」という強い思いを持ち、そして最後までできると信じ続けていました。このような結果となってしまったことはとても悔しいですが、室公演まで毎日のように練習ができていた日々は、決して当たり前ではなく、「たからもの」であったことに気づかされました。みんな今まで本当にありがとう!



卒業式



卒業記念音楽会 パンフレット



卒業記念音楽会 ポスター



ミュージカル辰野公演パンフレット



ミュージカル

保育学科1年生

保育学科1年の学校生活があつという間に過ぎました、新型コロナウイルスで様々な影響がある中でも、いつも前向きに頑張ってきました。2年生になると実習や就職など、たくさんのハードルがありますが、みんなで支え合って進んでいきましょう。

担任 松澤 和美



特別講義 WAKUWAKUスタジオ原先生と



保育実習室演習

施設実習を振り返って

私は肢体不自由の子どもたちが生活する病棟で実習を行いました。『肢体不自由』であるから全介助しなくてはと思い込んでいましたが、一人ひとりに必要な介助をしていくことの大切さを知りました。できることは自分でやること、協力動作をうまくつかうこと、仕草や表情からもその子どもの反応を考えると、コミュニケーションの取り方など、様々なことを職員の方の姿から学びました。また、実習を通して、障がいのある・なしに関わらず、子どもと関わる時に、自分自身がリラックスして笑顔で接することが何よりも重要だと感じました。

並木 花音



ポニー乗馬体験



LCV収録「絵本」



「健康」おこわ炊き



食事プレゼント イタリア料理店リーデレさん、地域の皆さんありがとう

初めての保育所実習

実習初日は、子どもたちに受け入れてもらえるのか、実習日誌は上手く書けるのか様々な不安でいっぱいでした。ですが、子どもたちと共に楽しい1日を過ごそうという思いを持って関わったことで、多くの子どもたちの笑顔に触れることができ、自然と不安が消えていきました。実習日誌も先生方から付箋等でアドバイスを頂いたり、温かいコメントを頂いたり、自分の今後に繋がる大切なものとなりました。コロナ禍で子どもたちとの関わりが制限される中ではありましたが、保育士としての言葉がけや一人ひとりの発達段階を、自分の目で見て学ぶことができ良かったです。今回の実習を生かして、今後もさらに学びを深めていきたいと思えます。

石田 紗規



学生会 卒業生を送る会

保育学科2年生

たからもの

自由を羽をひろげて飛び回ることができなかった2年間。その中で、もがき、考え、工夫し自分たちのできることを見つけ、行動した2年間でした。仲間とともに前を向き歩んだ時間は、かけがえのない『たからもの』となるでしょう。

担任 湯澤 ゆかり



卒業式



ミュージカル 全員集合!

祝 受賞・代表 おめでとうございます!



全国保育士
養成協議会
会長表彰

酒井 優亜

学業成績・人物ともに他の模範となるべき学生として選考されました。



卒業式 答辞

黒川 柚季



『子どもの食と栄養』スイートポテト

この2年を振り返って

ルーム長 村越 友哉

入学してからずっとコロナに振り回されながらも、保育者になるための技量を高め、あつという間の2年間でした。

コロナで行事ややりたい事が制限される中でも、どうしたらみんなが楽しめるか考えて実行してきました。一人ひとりが他の人のことを思って行動できるみんなだからこそ、新たな可能性を見出して、楽しんでこれたのだと思います。

2年間で得たものを生かし、卒業してからも27期生の仲間と一緒に頑張ります。みんな保育学科卒業おめでとう!!



『表現II』ひな祭り制作



『子どもの健康と安全』救命入門

副ルーム長 藤田 愛里

福祉大学校で過ごした2年間は、驚くほどあつという間でした。新型コロナウイルスの影響により、実習の延期や中止、イベントの縮小など、例年とは違った苦労もありましたが、その中でも、同じ夢を目指す仲間、そして、常に私たちを支えてくださる先生方と出会うことができたおかげで、ここまでやり遂げることができたと思います。4月から保育の現場で働くことに少し不安もありますが、この学校で学んだことを活かして、精一杯頑張っていきたいと思います。



介護福祉学科進学にあたり 降旗 蓮

保育学科ではたくさんの友達に恵まれ、講義では5領域を基に先生方から保育について学び、実習では子どもたちと楽しく関わり現場の雰囲気を感じることが出来ました。

これから私は介護福祉学科に進み、介護施設の利用者の方々との関わり方や援助の方法などを学んで、実習では常に現場の人たちから見て学ぶ姿勢を忘れずに、自分から挑戦したり実践しながら、楽しく学校生活を過ごしたいです。



祝 福祉大学校を支援する会 「白樺賞」受賞

金子 愛花

卒業研究を通して、保育所等で年中行事を経験することは、文化の継承だけでなく、子ども達が園生活を期待感や充実感を持って過ごせる効果があることを学びました。私はこの研究を活かし、保育者としてその時々の子どもの状況や姿に合った行事を積極的に取り入れ、様々な経験ができるようにしていきたいです。今回このような素晴らしい賞をいただくことができ、とても嬉しく思います。ありがとうございました。



介護福祉学科

いよいよ社会人。きっとこれから皆さんは、利用者さんの「その人らしさ」をたくさん考えていくことになると思います。しかし、「自分らしさ」も忘れずに、自分にもたくさん目を向けて歩んでくださいね。

担任 遠山 由希

国家試験に挑んで 竹村 俊瑛

介護福祉士国家試験は、本当に大変でした。しかし、終わった今では、国家試験があっただけ良かったと思っています。介護福祉学科のクラス全員で切磋琢磨しながら、試験対策に明け暮れた日々のおかげで、介護福祉学科全体の絆がより強くなった気がします。

お恥ずかしながら、私は初めての模擬試験でクラス最下位でした。しかし、先生方やクラスメイトのおかげで、めげずに努力を続けることができ、本試験は自信を持って臨むことができました。そして、その本試験を、これまで一番良い成績で終えることができました。「やればできる」ということを、実感することができたことは、これからの自分にとって何事にも替えがたい取組となりました。



国家試験超直前に

祝 日本介護福祉士養成施設協会会長賞 受賞 我妻 永理

福祉の世界は大変なことばかりではなく、子どもから高齢者、障がいを持つ方など全ての人の一生に寄り添い、温かさを感じることができる魅力があります。介護福祉学科での学びは、かけがいのない宝物です。校長先生をはじめ熱心な先生方、優しい仲間達、そして実習施設の皆様により感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



祝 卒業記念品贈呈代表者 武藤 涼夏

1年間とても忙しかったいへんでした。しかし、優しい先生方や親身になって相談ののってくれる友人のおかげでここまですることができました。これから素敵な保育士になれるよう頑張ります。



事例研究発表会をとおして

祝 福祉大学校を支援する会「白樫賞」受賞 濱野 咲奈

事例研究を通して、アセスメントを行い計画を立てることの難しさ、実施を繰り返し見直していく大切さ、そして何よりも入居者の「望む生活や生きがい」を支援できる介護福祉士の魅力を改めて感じました。この研究で培った経験、クラスメイトの11個の事例から学びを活かして、ひとりの福祉人材として活躍していきたいです。



この1年を振り返って

介護福祉学科で1年間過ごし、人との関わり方について深く学びました。介護現場ではもちろん、仲間のやさしさにも触れ、人の温かみを知りました。ありがとうございました。

伊藤 美海

1年間ありがとうございました!!みんなのおかげで楽しく勉強できて、充実した日々を過ごせました。これからは、別々の場所になるけど頑張ろうね!!応援しています!!

井上 美穂

お友達や先生のおかげで、忙しくても楽しい充実した1年になりました。介護について学ぶことで保育の知識を生かしながら、より人間的にも成長できたと思います。

大野田 晴菜

この1年間で生きること、死ぬことについて一番考えました。人はいつ死ぬか分からないからこそ、毎日笑って、後悔なく明日死んでもいいと思えるよう日々を大切にしていきたい。

小林 彩音

この1年で、介護の意味についてたくさん考えることができました。4月から介護の理想を追求しながら、利用者の方々との関わりが持てるように頑張ります。

柴 萌夏

介護は周囲の方のあたたかい言葉やおだやかな雰囲気がとても魅力的でした。支援する立場の私達が、利用者の方々にたくさんの幸せと学びをもらいました。ありがとうございました。

丸山 ひかる

私は、小学6年生の頃に介護に興味を持ち、福祉大に入学しました。介護を学ぶことは人生の中で役に立つし、何よりも楽しいので、これからも頑張っていきます。

三石 沙季

実習や就活、テストなどで忙しい1年間であっという間でしたが、個性豊かなクラスのみんな、先生方と過ごす時間は本当に楽しかったです。ありがとうございました。

宮澤 里佳



介護用リフト体験



ともだちになるために♪



国家試験まで、あと3日...



子どもたちからの贈り物